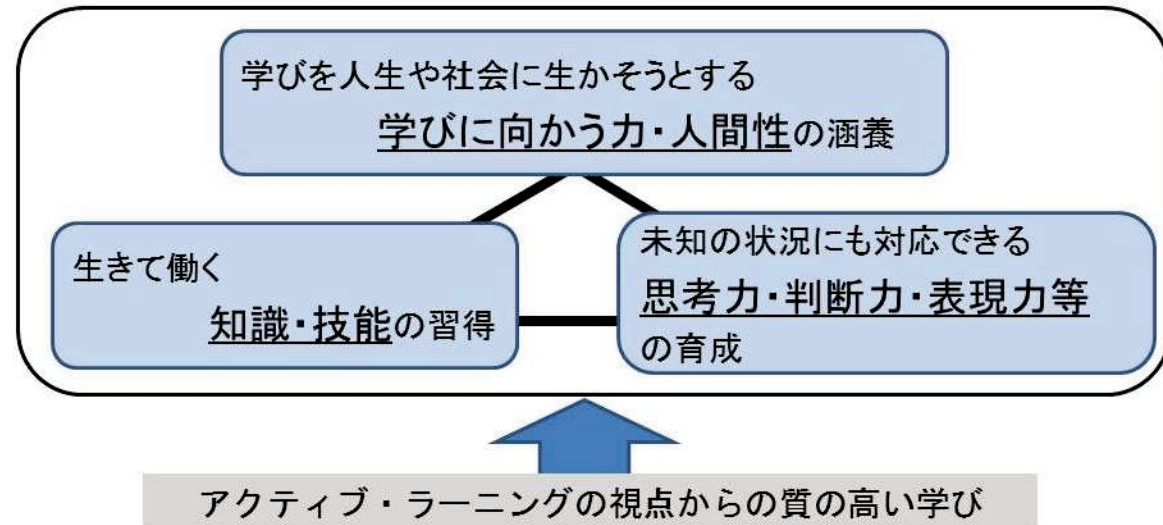


＜アクティブ・ラーニングの実現に向けた本市の新たな教育施策＞

1 権限移譲に伴う教育施策の拡充の背景

(1) 次期学習指導要領改訂の方向性

○新しい時代に必要となる資質・能力の三つの柱



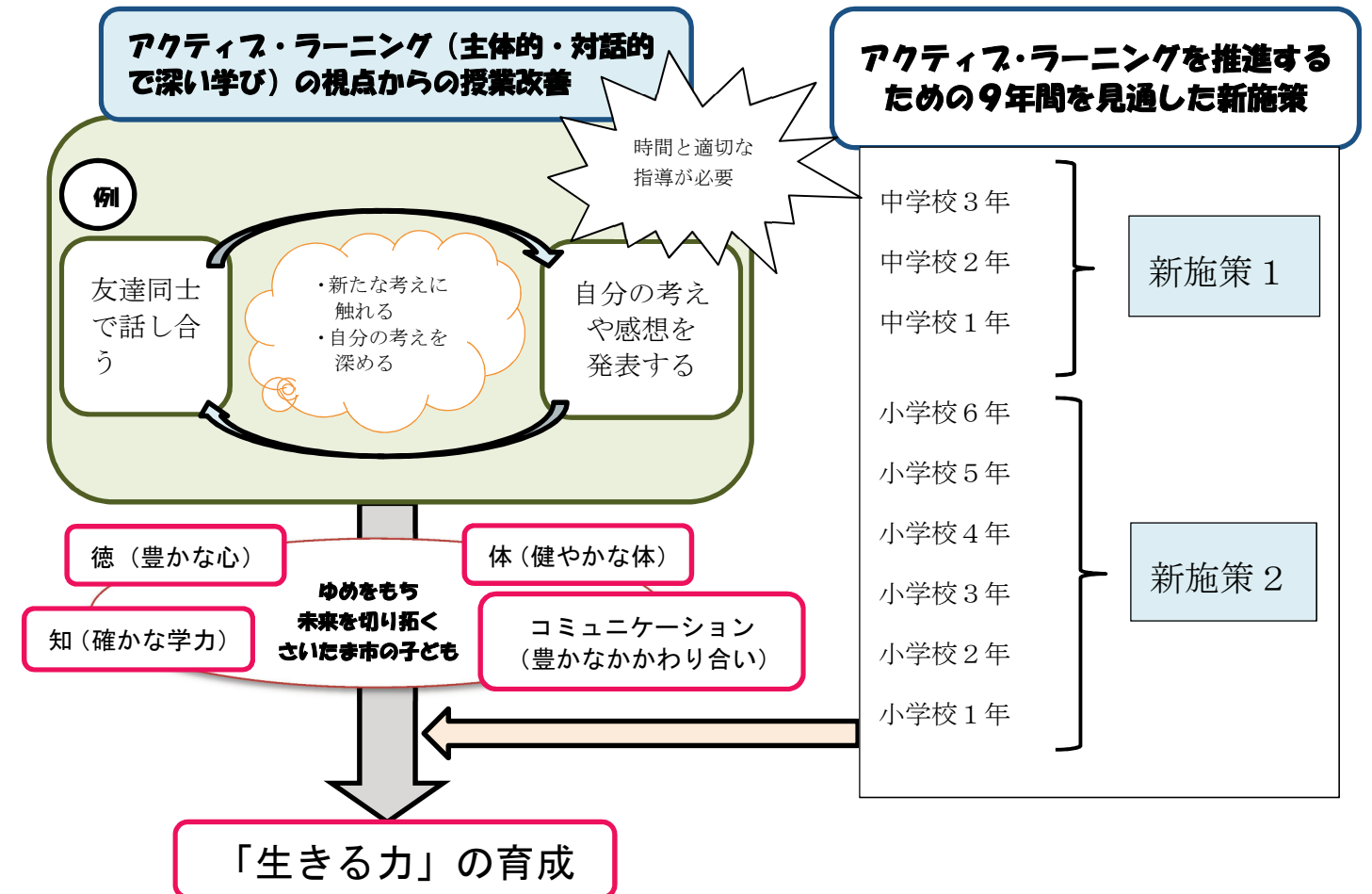
○子供の発達を踏まえた指導

一人ひとりの子どもの障害の状態や発達の段階に応じた指導や支援の充実

(2) 国の動向と本施策のスケジュール

	28年度 (2016年)	29年度 (2017年)	30年度 (2018年)	31年度 (2019年)	32年度 (2020年)	33年度 (2021年)
国の動向	学習指導要領の改訂	中教審答申	学習指導要領改訂に伴う移行期間			小学校全面実施
	義務標準法の改正 (H29.4~)		加配定数のうち、通級による指導等について10年かけて段階的に基礎定数化			
さいたま市の施策	<参考> グローバルスタディ	研究開発モデル校で実践研究	小学校:全校実施	小学校:順次授業時数拡大	H30~ 全面実施	
	新施策1 中学校における授業時数の拡充		保護者や地域の思いを踏まえて見直し			施策の見直し
	新施策2 小学校における発達障害・情緒障害通級指導教室の拡充		8校から28校へ拡充	更なる拡充検討		

(3) アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善



2 新施策1 中学校における授業時数の拡充

市立各中学校において、学年ごとに1教科を選択し、その教科の年間授業時数を15時間増やすことにより、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を図ります。

(1) 年間標準授業時数

	H28年度まで	H29年度以降
さいたま市	1015時間	1030時間
国の年間標準授業時数	1015時間	

(2) 成果の検証

- ・「よい授業」集計システムを活用し、アクティブ・ラーニングの視点に基づく授業改善について生徒に調査することにより、成果を検証します。
- ・平成33年度の学習指導要領全面実施に向け、平成32年度までに施策全体の見直しを行います。

3 新施策2 小学校における発達障害・情緒障害通級指導教室の拡充

(1) 拡充の背景

国では、障害者に関する法などの整備が進められており、学校は、発達障害児者の将来の自立と社会参加を見据えた上で、小学校の早期段階から適切な指導や支援を行う必要があります。

そのため、小学校の通級指導教室を拡充し、必要な児童に適切な指導を行うなどの支援体制や環境整備が求められています。

- 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」の報告（H24.7）
- 「発達障害者支援法」の一部改正（H28.5）
- 次期学習指導要領

(2) 発達障害・情緒障害通級指導教室の対象となる子どもの特性

子ども個人において、対人関係や社会性などの発達のバランスが悪いため、学校生活に支障がやすい。

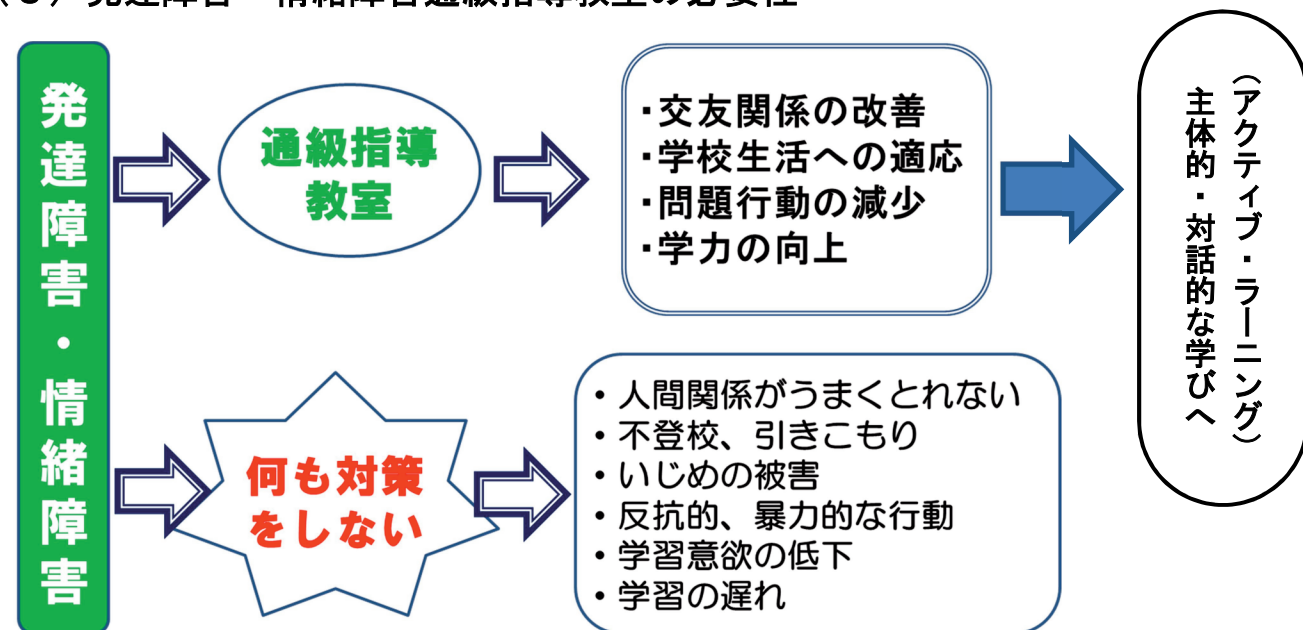
<例>

- ・計算や時間をかけて調べることは得意である一方で、障害により友達と話すことや学習のルールを守ることが苦手なために、学校生活に困難さがみられる子ども。

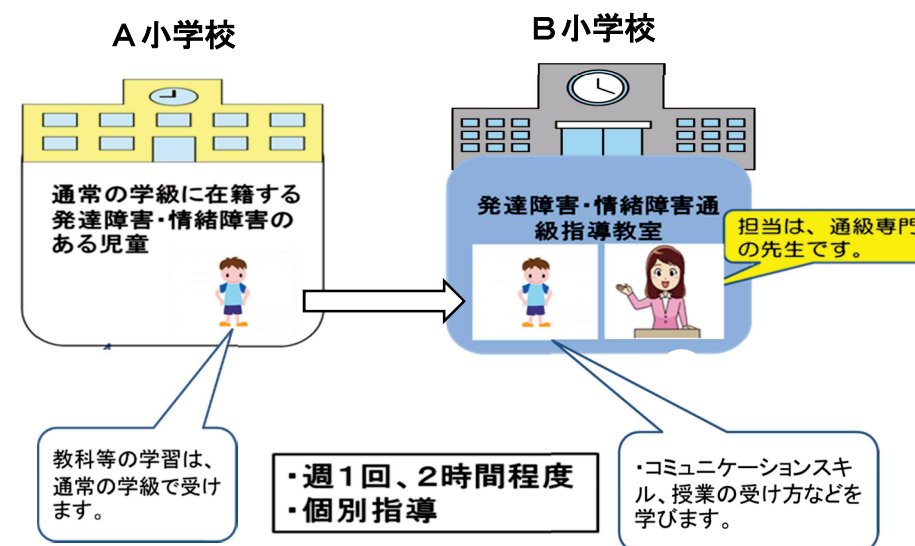
<例>

- ・学習はおおむね理解できるものの、相手の気持ちを推測できなかつたり、言動に不注意や衝動的な症状が複数見られたりすることから、友だちとの関係づくりなどに困難さがみられる子ども。

(3) 発達障害・情緒障害通級指導教室の必要性



(4) 発達障害・情緒障害通級指導教室の仕組み



(5) 発達障害・情緒障害通級指導教室での指導が必要な児童（見込み数）

- 平成27年度に全国で発達障害に関する通級指導教室で指導を受けた児童の割合から見たさいたま市の見込み数 約450人
- 国が通級指導を受ける児童数13人に対し、担当教員を1人配置する基礎定数措置をすることから必要な通級指導教室（さいたま市） 35教室程度
- 平成29年度は、現在の8教室に加え、20教室を新增設し、28教室に拡充

(6) 効果

- 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童に対し、小学校の早期の段階において、適切な指導を行うことで、通常の学級での適応力が高まります。その結果、アクティブ・ラーニングを行う上で必要となるコミュニケーション能力や学習への意欲が高まります。
- 通級指導教室の教育的機能を活用することにより、通常の学級の担任が、専門的なアドバイスを受ける機会が増え、より適切な指導・支援の充実につながります。

4 予算要求額の内訳

項目	当初要求額（千円）
【教室改修】 903,000円/教室×20教室	18,060
【空調機設置】 1,500,000円/教室×26機	39,000
【備品】 460,000円/教室×20教室×1.08	9,936
【消耗品】 116,000円/教室×20教室×1.08	2,506
合計（千円）	69,502